



# グリーン調達の要求事項

- 要求事項の明示**
- 購入先に対する要求事項**
- 環境経営システムの構築**
- ・企業理念、方針の策定
  - ・組織、目標、計画の明確化
  - ・法規制の遵守
  - ・緊急事態への対応
  - ・環境影響評価  
(化学物質の管理、水質汚濁の防止、廃棄物管理等)
- 資材に対する要求事項**
- ・法律、条例の遵守
  - ・使用禁止物質の含有禁止
  - ・肯定での指定物質の使用禁止
  - ・省エネルギー、省資源、再生資源化等の取り組み

QCDからQCD+E (環境)へ

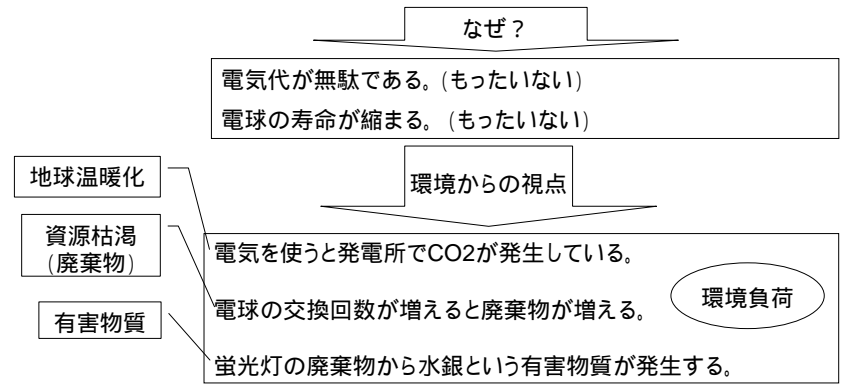
- Q:品質
- C:コスト
- D:納期

# 環境を配慮するとはどういうことか

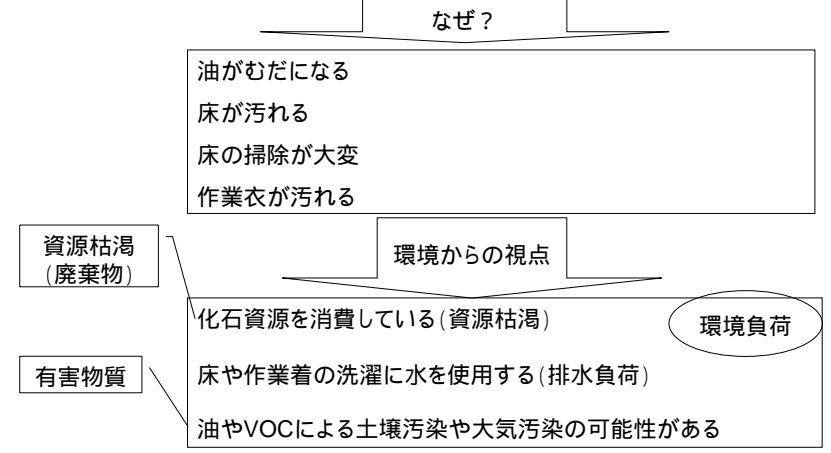
- 環境負荷を知る。  
今、業務で活動していることと、環境を関連づける。(環境からの視点を持つ)
- 守るべきことを知る。  
関連づけた環境からの視点を環境法規制と照らし合わせる。
- 環境の視点から行動する。  
環境の視点から、今の業務を効率的に実行できるような仕組みを考えて実行する。

環境負荷を知る。  
今、業務で活動していることと、環境を関連づける。  
(環境からの視点を持つ)

例1) だれもない部屋の蛍光灯は消している。



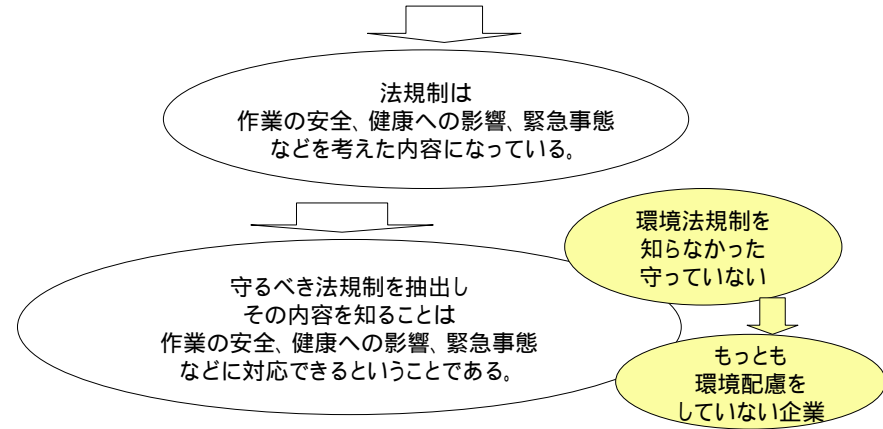
例2) 油を床にこぼさない



# 守るべきことを知る ～ 関連づけた環境からの視点を環境法規制と 照らし合わせる～

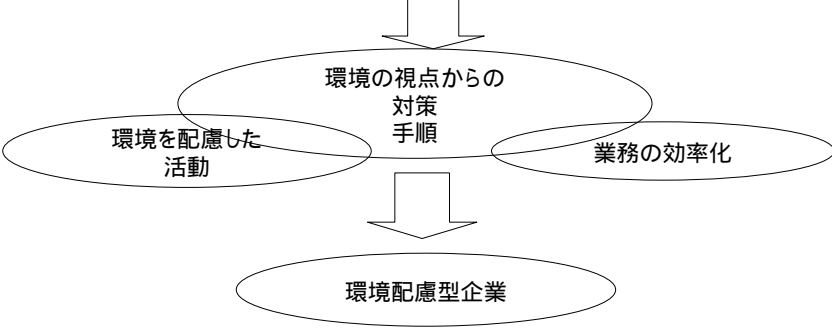
- 化学物質の使用について何か規制はないか？
1. 作業中
    - 毒性、爆発の危険性は大丈夫か？
    - 廃棄する場合は？ (保管場所、保管方法、処分方法)
  2. 保管
    - 保管量は？ 大量に保管する場合は？
    - 危険物にあたる？ 毒物・劇物上は？ 保管責任者は？
  3. 廃棄処分
    - 適正な処分の方法は？ (産業廃棄物、廃棄物業者との契約、マニフェスト)
  4. 緊急時
    - 漏れた場合は？ こぼした場合は？

業務上、殆どの規制はクリアされている。(クリアしないと商売ができない)  
許可、届出、報告など書類は提出されている。  
どのような法規制で書類を提出しているのか、関連性がはっきりしない。また、  
なぜ、そのような書類が必要なのか理解していない。



# 環境の視点から行動する。 環境の視点から、今の業務を効率的に実行できる ような仕組みを考えて実行する。

薬品をこぼさないようにするには、どうするか。  
薬品をこぼしてしまったら、どうするか。



# 環境経営とはなにか

環境配慮型企業になっても環境経営をしているとはいえない

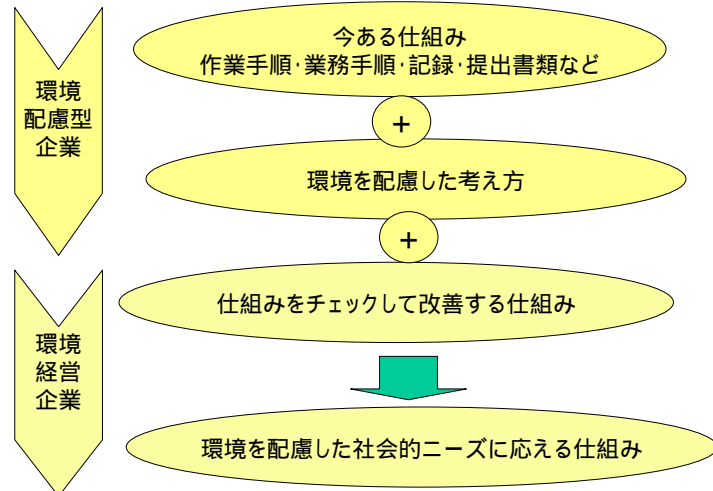
- 環境を配慮した**事業活動により**、事業者としての**責務を果たす**。(社会に貢献する)
- 環境を配慮した事業活動をしていることを**お客さま・お取引先にPRし**、**事業に利益を生む**。
- 環境に配慮する**情報を収集し**、**仕組みを常に改善する**。(社会的ニーズに応える)

環境を配慮した事業活動により、事業者としての責務を果たす(社会に貢献する)

機械加工会社は業務の特徴から、社会的にどのようなことに貢献できるのか

- できるだけ省資源の製品をつくる
- できるだけ有害物質を使わない
- できるだけ省エネタイプの製品を作る

環境に配慮する情報を収集し、仕組みを常に改善する。(社会的ニーズに応える)



環境を配慮した社会的ニーズに応える仕組み

まずは

- 事業活動のinput & outputを見直す
- 事業所内の無理や無駄、リスクを探す
- 責任の所在、役割を明確にする
- 従業員の意識を高める
- 適切な目標を立て、進捗状況を評価する
- できない場合の真の原因を探す
- 地道な活動を積み重ね、継続させる

こんなことをするために

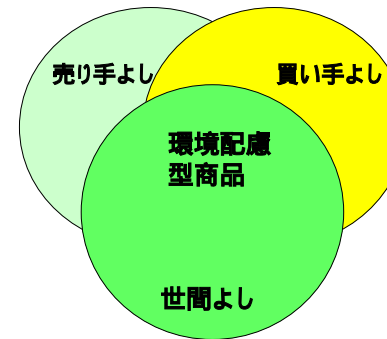
環境経営システムを構築・運用する

## 環境を配慮すること

環境を配慮しても儲からない。  
儲かるためには  
システムを構築し、  
自社の環境配慮をPRし、  
お客様や取引先と一緒に(理解して頂いて)  
自社の特徴を生かして  
自社の社会的役割を果たすこと。  
これが、環境経営、将来頑張れば必ず儲かります。

**儲かるという意味は  
経営資源(人材、もの、かね、時間など)が  
効率的に調達できること**

## これからの経済社会

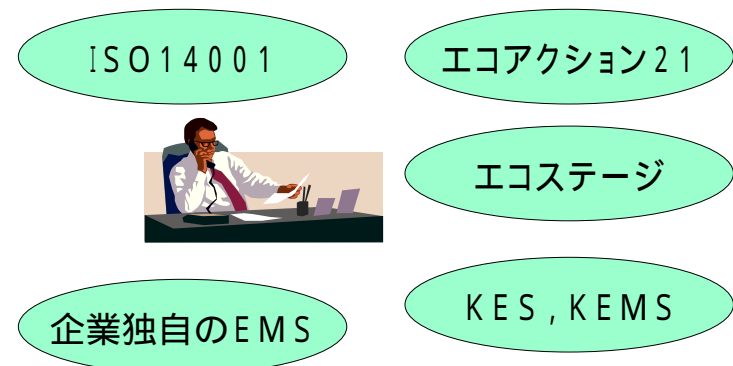


- 省エネルギー  
(車、家電、住宅)
- 安全な食品  
(有機食品、減農薬野菜)
- 有害物質非使用資材  
(鉛フリー、ハロゲンフリー)
- 持続可能な原料  
(天然素材)

## 環境経営を目指すための道具

**環境経営システム  
エコアクション21(EA21)**

## 環境経営システムの導入 ～何を選ぶか?～



## ISOと他の環境経営システムの比較

	ISO	EA21	エコステージ	KES
認証登録件数 下記webサイトより調査の最近のデータ JAB IGES エコステージ KES	20,738	3,512	ステージ1:610 ステージ2: 58 ステージ3: 4 ステージ4: 0	ステップ1:1,409 ステップ2:891
審査登録料 30～99名の製造業の場合	80～120万円	30万円	54万円	25万円
審査の方法	コンサル不可	助言あり 審査人を指名できる		助言あり
特徴	国際標準システム重視	国の公的制度 パフォーマンス重視 審査人が審査した環境活動レポートを公開	段階式評価	京都市から地方へ

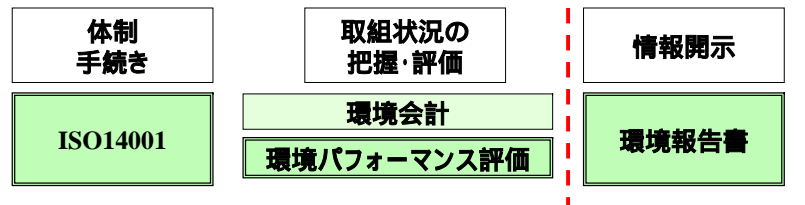
## 要求事項の比較 EA21 vs ISO14001

	エコアクション21		ISO14001	
P計画	1	環境方針の作成	4.2	環境方針
	2	環境負荷と環境への取組状況の把握及び評価	4.3.1	環境側面
	3	環境関連法規等の取りまとめ	4.3.2	法的及びその他の要求事項
	4	環境目標及び環境活動計画の策定	4.3.3	目的、目標及び実施計画
D計画の実施	5	実施体制の構築	4.4.1	資源、役割、責任及び権限
	6	教育・訓練の実施	4.4.2	力量、教育訓練及び自覚
	7	環境コミュニケーション	4.4.3	コミュニケーション
	8	実施及び運用	4.4.6	運用管理
	9	環境上の緊急事態への準備及び対応	4.4.7	緊急事態への準備及び対応
C取組状況の確認と評価	10	取組状況の確認及び問題の是正 (内部監査は100人以上・複数サイト事業者への推奨事項)	4.5.1 4.5.2 4.5.3 4.5.5	監視及び測定 順守評価 不適合並びに是正処置及び予防処置 内部監査
	11	環境関連文書及び記録の作成・整理 (マニュアルは100人以上・複数サイト事業者への推奨事項)	4.4.4 4.4.5 4.5.4	文書類 文書管理 記録の管理
A全体の評価と見直し	12	代表者による全体の評価と見直し	4.6	マネジメントレビュー
		環境活動レポート		-

## EA21の構成

環境経営システム  
環境影響評価システム  
環境活動レポート

統合型  
環境経営システム



EA21は色部分を統合した簡易マネジメントシステム

## エコアクション21の生い立ち

1996年	環境省(当時環境庁)が登録制度として策定 (ISO14001と同時期)
2004年	ガイドライン改訂 認証登録制度に移行
2005年	認証制度の実質的なスタート
2009年	ガイドライン改訂(予定)

## EA21制度の実施主体

ガイドライン策定	環境省
認証登録機関	財団法人地球環境戦略研究機関 持続性センター (IGES-CfS) EA21中央事務局 <a href="http://www.ea21.jp/">http://www.ea21.jp/</a>
審査受付 認証の判定	EA21地域事務局 現在: 35都道府県、47団体
審査実施	EA21審査人(768人) 3月1日現在

## 地域事務局の要件

- 1) 公益法人、特定非営利活動法人又は中間法人であり、地域事務局としての公益的な活動を、継続的かつ公正に行える団体であること
- 2) **地域の地方公共団体等との協力関係があること**
- 3) エコアクション21認証・登録制度の公正かつ円滑な運営のための協議組織を設置すること

## 審査人の認定の要件

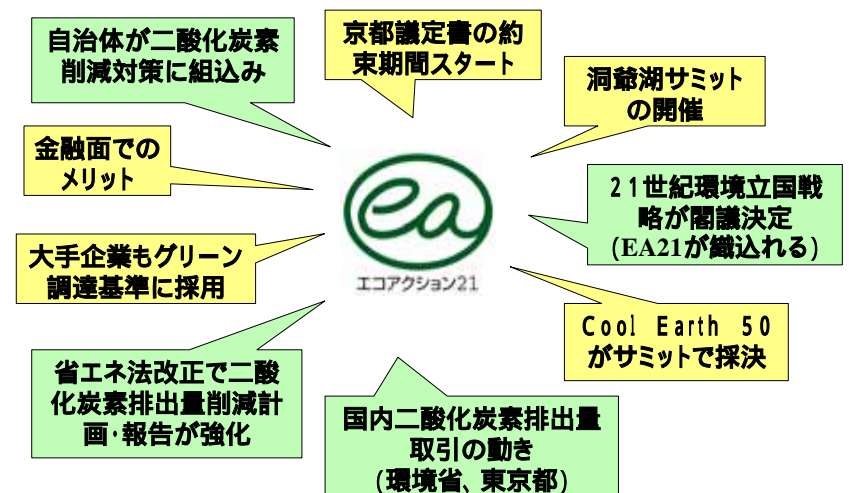
審査受審事業者との間で適切なコミュニケーションを図ることができ、上記の知識と経験を活用して、エコアクション21の審査及び**必要な指導・助言を行うことができる資質、能力及び意欲を有していること**

- 書面試験(一次試験) 資格、経歴チェック、論文
- 筆記試験(二次試験) 環境問題の知識
- 面接試験(三次試験) コミュニケーション能力

## 業種特性に応じたマニュアルの充実 ～何をすればよいかを解説～

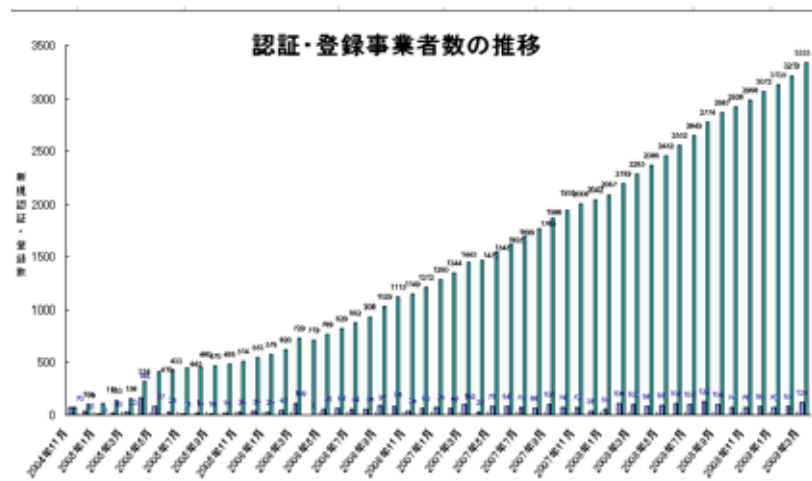
- 一般向け
- 地方公共団体向け
- 大学等(教育・研究機関)向け
- 建設業向け
- 廃棄物事業者向け  
(優良性の判断に係る評価制度)
- 食品関連事業者向け  
(食品リサイクル認証制度)
- (自動車整備業向け)・・・計画中

## EA21普及の背景(追い風)

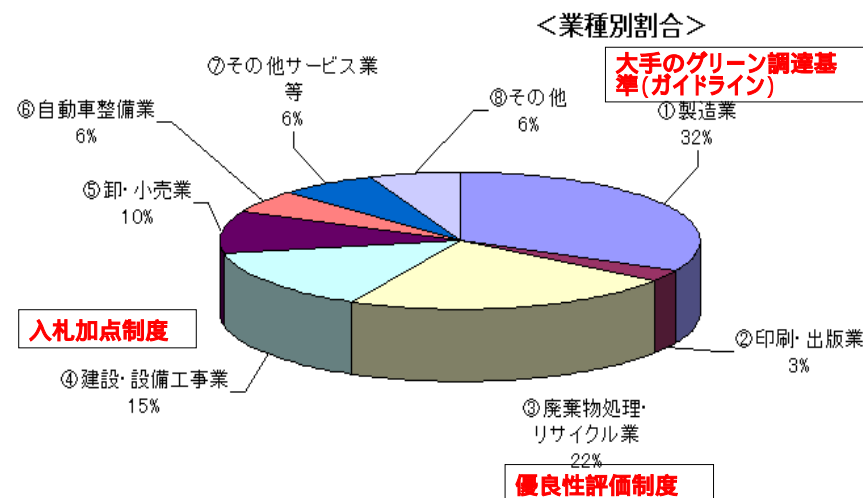


## E A 2 1 認証登録件数の推移

毎月70～90件のペースで推移

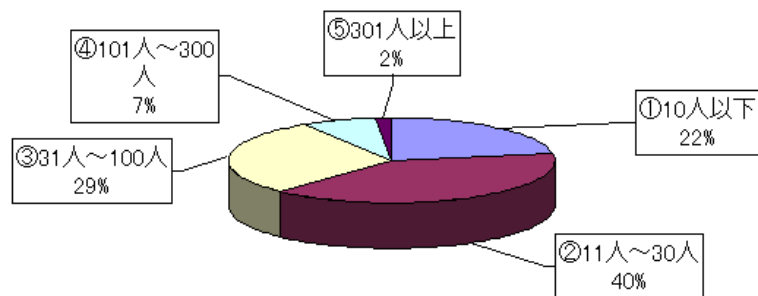


## E A 2 1 認証登録件数の業種別割合



## E A 2 1 認証登録件数の規模別割合

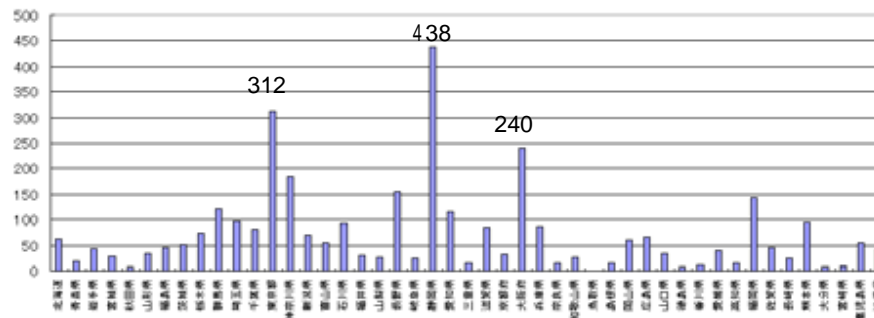
事業者数



30人以下で62% 中小企業に取り組みやすいEMS

EMS = 環境マネジメント(経営)システム

## 自治体別E A 2 1 認証登録件数



入札条件等が導入された自治体は件数が多い

環境配慮契約法(平成19年施行)の動向に注目



## 審査・登録費用(環境負荷の大きい事業所) 製造業・建設業・修理工場等

従業員数	審査料				登録料 (登録・更新) (2年毎更新)
	登録時	中間審査		更新	
		第1回	第2回以降		
10人以下	10万円	10万円	7.5万円	10万円	5万円
11人以上 30人以下					10万円
31人以上 100人以下	20万円	15万円	7.5万円	15万円	10万円
101人以上 300人以下	25万円 以上	20万円 以上	12.5 万円 以上	20万円 以上	15万円
301人以上 500人以下					20万円
501人以上 1000人以下					20万円
1001人以上					30万円

(旅費・宿泊費・税別)

従業員数には、正規職員だけでなく、パート・アルバイト等も含まれる

## 審査費用

### 1. 審査費用が安い

- ・地域事務局は**営利を目的としない団体**が認定を受けている。
- ・**審査人は個人**で、組織に属さないため経費がかからない。
- ・審査人の費用も決められている。

## エコアクション21ガイドラインの特徴

### 1. 必要な環境への取組と行動を規定(必須要件)

#### 必ず把握すべき項目

二酸化炭素排出量  
廃棄物排出量  
総排水量(水使用量)



#### 必ず取組む行動

省エネルギー  
廃棄物削減(リサイクル)  
節水

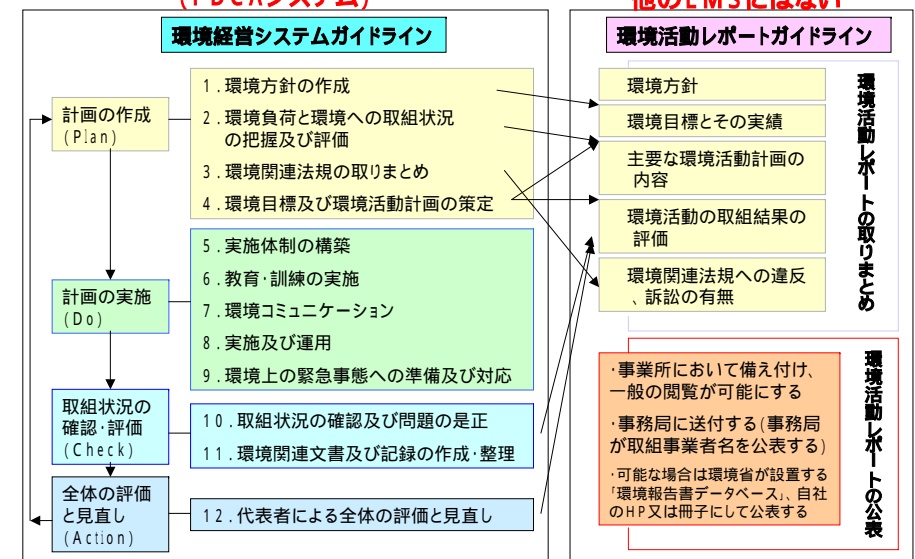
### 2. 環境コミュニケーションにも取り組むことを規定

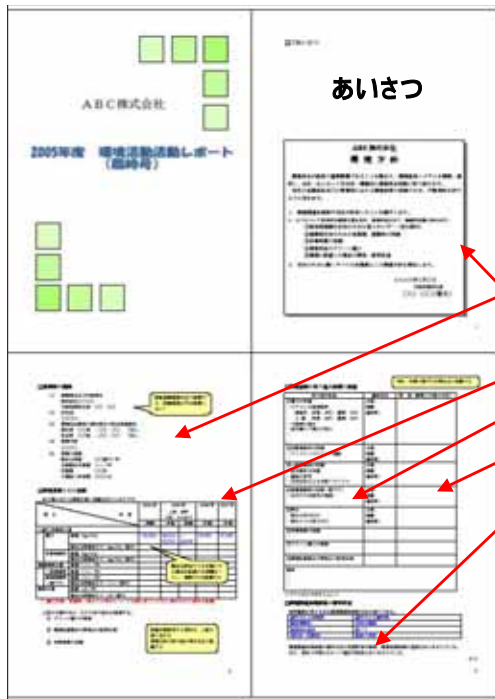
#### 環境活動レポートの作成と公表

他のEMSの要求事項にはない規定

これらの取組は、環境経営に当たっての必須の要件

## エコアクション21環境経営システムガイドライン 及び環境活動レポートガイドラインの構成 (PDCAシステム)



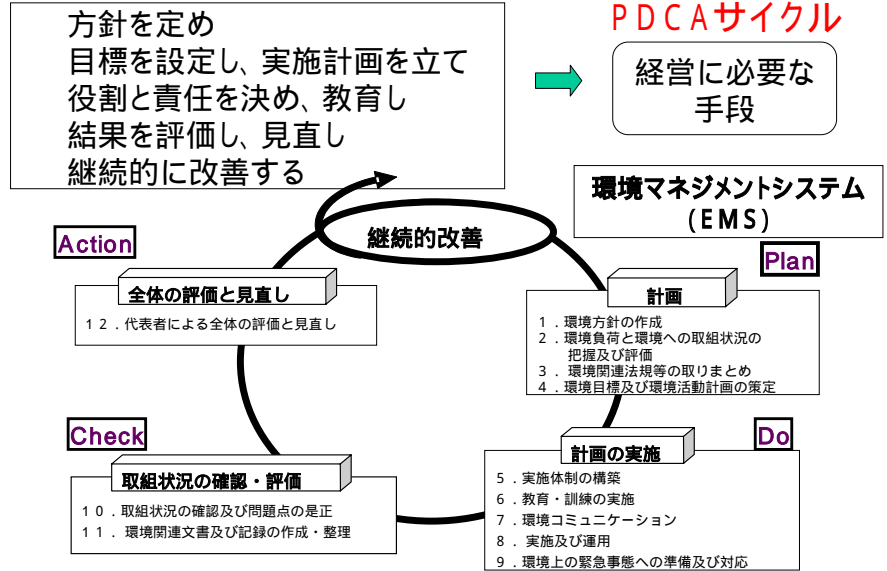


## 環境活動レポート ～一例～

- 事業所の概要
- 環境方針
- 環境目標とその実績
- 主要な環境活動計画の内容
- 環境活動の取組結果の評価
- 環境関連法規制と順守状況

審査人が審査した  
CSRレポート!

## 環境経営システムとは



## 環境効率を向上させるための方策

資源・エネルギーの投入量を減らす  
廃棄物の発生量を減らす  
製品・サービスの質・機能を向上させる



生産性を向上させる  
歩留まりを改善させる  
より付加価値の高いものを生産する

本来業務の改善  
にほかならない。

## 具体的な改善活動

～目標管理による取り組み～

	項目	具体的な取り組み
省エネ	電力削減	節電(照明、エアコン温度) 高効率の機器採用(インバーター化) 圧縮空気の漏れ防止 建物の断熱施工
	自動車燃料	アイドリングストップ、空ぶかし防止
	ガス	ヒートポンプ式給湯機の導入
省資源・ 廃棄物削減	節水	節水(節水コマ、自動水栓、再利用)
	資材	軽量化、コンパクト化
	包材	通い箱化、簡易化
	歩留向上	加工ミス防止
	コピー用紙	裏紙利用、電子化
	購入時の配慮	グリーン購入(エコマーク製品購入)
	廃棄物削減	再使用、リサイクル化

## 省資源・廃棄物削減活動

### < 非ごみ三原則 >

持ち込まない



最終製品として使わないものは持ち込まない  
原料: 生産過程でごみとなるもの  
包材: 生産過程でごみとなるもの

発生させない



ロス = 資源・エネルギーの無駄使いとの観点からロスを発生させない

持ち出さない



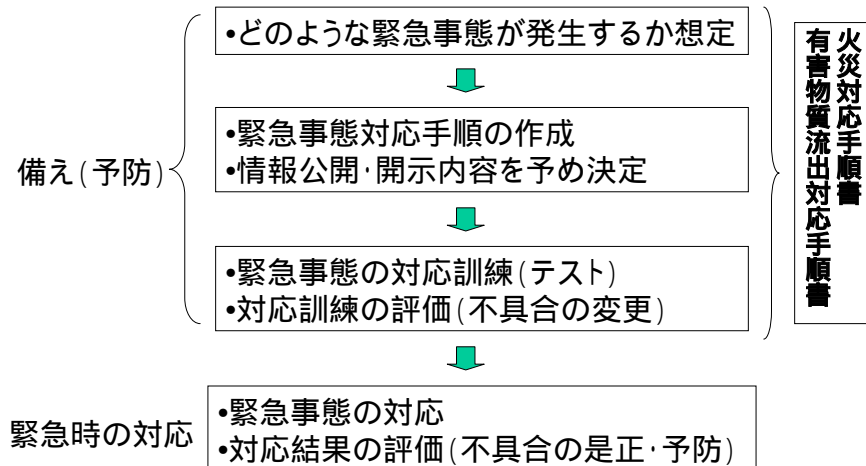
発生した廃棄物を徹底的に再使用・再利用し、廃棄物として持ち出さない

## 環境経営システムの狙い ～ リスクマネジメント～



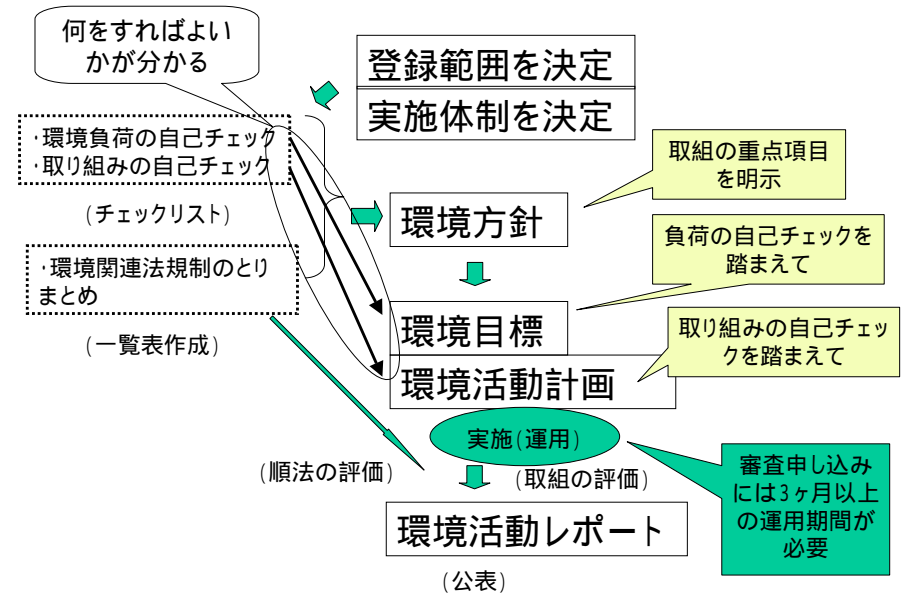
環境リスクの回避は経営者の重要な責任

## 緊急事態への準備と対応 ～ リスク管理～



緊急時対策も重要なリスクマネジメント

## 主要な構築の流れ



## 国・自治体の動き

- 廃棄物処理業：廃棄物処理法で評価基準にISO14001、EA21(または相互認証があるEMS)が採用
- 食品関連事業者：農林水産省が食品関連事業者向けマニュアル(試行版)を発行。食品リサイクル及び環境への取組を積極的に行う食品関連事業者に係るEA21 認証・登録制度のパイロット事業を開始
- 加西市、河南町、大阪狭山市等自治体がEA21 認証取得
- 大阪府、大阪市：一部の入札の評価基準にEA21を採用
- 京都府、滋賀県(京滋グリーン入札)：ISO、EA21、KESなど認証取得している企業から優先して物品を調達
- 神奈川県：公共工事、物品購入の際に等級格付けにEA21を採用

## 環境経営への支援策 ～自治体等による補助や支援制度～

- 大阪府：構築に必要なアドバイザー派遣(5回を限度)
- 大阪市：なにわエコ会議企業部会による支援
- 八尾市：認証取得費用の1/2(15万円を限度)
- 枚方市：認証取得費用の1/2(10万円を限度)
- 豊中市：構築に必要なアドバイザー派遣(5回を限度)
- 茨木市：認証取得費用について20万円を限度に補助
- 藤沢市：認証取得費用の1/2(100万円を限度)
- 静岡県：事前協議免除
- 長野県：認証登録年度の事業税を1/2に

## 金融機関の動き

東京三菱銀行から  
環境に配慮されている企業さまへうれしいお知らせ

### 融活力 エコアクション

対象となる企業さま | ISO14001 | もしくは「エコアクション21」の認証・登録を受けた企業さま

「融活力」を審査結果に応じた当行所定の金利より ▲0.5%優遇

### 京都銀行

環境配慮型企業向けの融資金利を優遇する「京銀エコ・ローン」、私募債を発行する場合の手数料を優遇する「京銀エコ・私募債」の取扱い開始(ISO、EA21、KES)

### 三井住友銀行

ISO、EA21等認証取得企業に0.25%金利を優遇

## おわりに

気候変動問題、資源の枯渇、有害物質は世界の共通課題



地球温暖化対策、限りある資源の有効活用、有害物質対策は世界の潮流



消費者・取引先の目は環境経営に向けられている



環境経営システムを構築し、環境経営に取り組もう